



東海道吉原駅

吉祥文様を散りばめた華麗な裂地の表紙で飾られたこの写真帖には、様々な地点から撮影された富士山の写真二十四枚が貼り込まれている（P 70～71「富士山二十四景」撮影ポイント参照）。写真はすべて白金印画紙で、巻頭頁には彩色が施されている。収納箱の内側には紅葉の図柄をあしらひ、金字で「東京木挽町玄鹿館謹製」と記す。玄鹿館は、鹿島清兵衛が明治二十八年（一八九五）木挽町に開いた大規模な写真館で、弟の清三郎を館主に据え、自らは顧問として写真術に関する諸種の製造および販売を行った。

これらはいずれも二月中旬に撮影されたもので、どの写真も丹誠こめて写されている。中でも柏原沼辺の景では、湖面に逆さ富士が映り帆掛け船が浮かぶという典型的な図様を踏襲しながらも、低めに視点をとり、湖面に映る富士や帆掛け船の影を鮮やかにとらえる。画面は透き通るような清々しい印象に満ちており、清兵衛の写真技術の高さを知ることが出来る。

## 11 富士山二十四景

玄鹿館 一帖

写真 明治二十八年（一八九五）頃  
本紙各二・〇×二六・八



写真帖 39.5 × 48.5 × 12.0 (cm)



於東海道柏原沼邊

124 Fuji and Kashiwabara Lake.

東海道柏原沼邊



於駿州靜浦

駿州靜浦其三

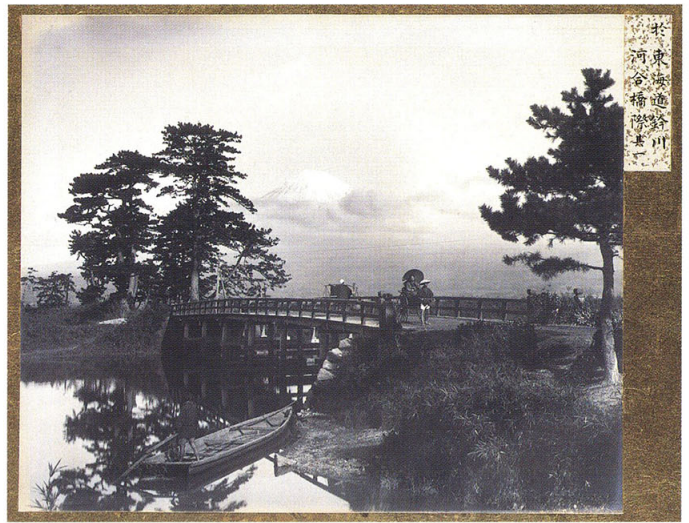


於東海道三島驛  
玉川湖畔

東海道三島驛玉川湖畔



東海道加島邨



東海道鈴川河合橋際其一



甲州精進湖畔其三



東海道富士川橋上



東海道興津海岸



甲州吉田其一

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

富士 — 山を写し、山に想う —

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 46

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十年三月二十二日発行

© 2008 The Museum of the Imperial Collections